令和8年度

全国学力・学習状況調査の結果

【実施日：令和8年4月23日】

■問合先／教育指導課（☎58-5111・75-3111代表）

市内小・中・義務教育学校の結果をお知らせします。なお、この調査の目的や、調査結果は学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面です。

調査の目的

●義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

●学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善などに役立てる。

●教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

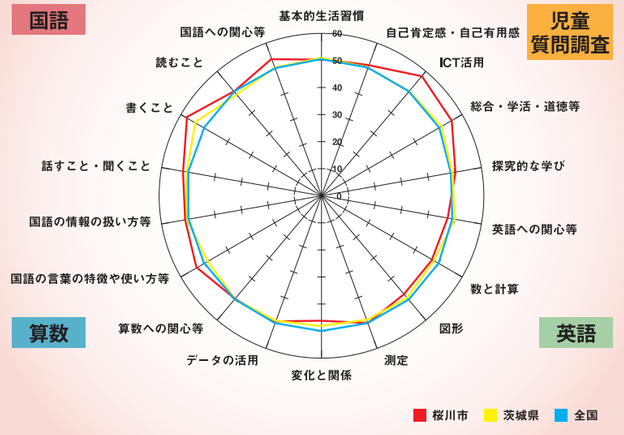
調査の内容

●教科調査（国語、算数・数学、英語）
・知識及び技能や思考力、判断力、表現力などを問う問題。

●質問調査
・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面などに関する質問調査を実施。

小学校・義務教育学校（前期課程）

対象：市内小学校第6学年、義務教育学校第6学年（前期課程）
調査人数：243人
調査内容：国語、算数、英語、質問調査



◆国語では

○成果が見られた設問

・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして、必要な情報を見付けることができるかをみる設問

●課題が見られた設問

・事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができるかをみる設問

◎今後の対応

児童が試行錯誤しながら、比較・関連付ける言語活動を取り入れ、叙述を基に考えられるようにしていく。

◆算数では

○成果が見られた設問

・小数が整数と同じ、十進位取り記数法の仕組みで表されていることを理解し、条件に合う小数をつくることができるかをみる設問

●課題が見られた設問

・「図形」について、基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶことができるかをみる設問

◎今後の対応

基準量とその何倍かに当たる量を、図等を用いて比較する活動を通して、割合の意味の理解が深まるようにしていく。

◆児童質問調査では

○成果が見られた項目

・ＩＣＴを活用した学習状況の項目

・自分の考えや意見を分かりやすく伝えることや、友達と考えを共有・比較する項目

●課題が見られた項目

・自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表する項目

◆学校質問調査では

○成果が見られた項目

・将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしたかを問う項目

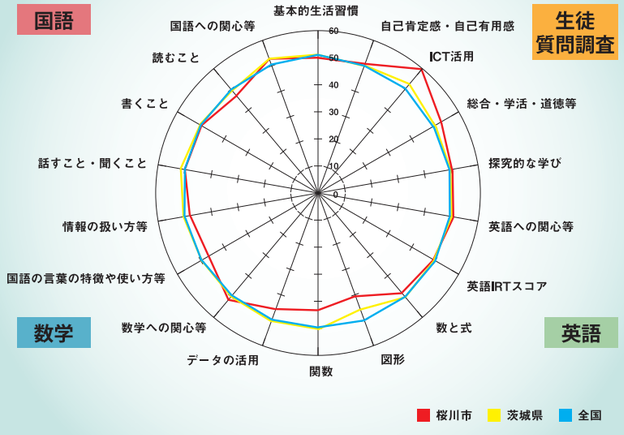
●課題が見られた項目

・児童が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童の学習改善に生かしたかの項目



中学校・義務教育学校（後期課程）

対象：市内中学校第3学年、義務教育学校第9学年（後期課程）
調査人数：259人
調査内容：国語、数学、英語、質問調査



◆国語では

○成果が見られた設問

・表現の効果を考えて、描写することができるかをみる設問

●課題が見られた設問

・必要な情報に着目して要約し、内容を解釈することができるかをみる設問

◎今後の対応

複数の情報から根拠を取り出し、比較・関連付けることができるような活動に取り組む。

◆数学では

○成果が見られた設問

・正の数と負の数を用いて、変化や状況を表すことができるかをみる設問

●課題が見られた設問

・筋道を立てて考え、証明することができるかをみる設問

・証明する事柄の仮定を見いだせるかをみる設問

◎今後の対応

書いた証明を生徒自身が振り返り、筋道立てて説明ができているか、根拠は明確であるかなどの視点をもって、改善できるようにしていく。

◆英語では

○成果が見られた設問

・音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、読むことによる実際のコミュニケーションにおいて、活用できる技能を身に付けているかをみる設問

●課題が見られた設問

・社会的な話題について書かれた短い英文を読み、その要点を捉えた上で、自分の考えとその理由を英語で書く力をみる設問

◎今後の対応

・社会的な話題について書かれた英文を読み、内容を理解した上で、自分の考えを英語で話したり、書いたりする活動に取り組む。

・自分の考えや気持ちを英語で表現できるよう、必要な単語や表現を繰り返し使い、身に付ける。

◆生徒質問調査では

○成果が見られた項目

・ＩＣＴを活用した学習活動と自己肯定感や自己有用感に関する項目

・学級生活をよりよくするため学級活動で話し合い、互いの意見のよさを活かして解決方法を決めている項目

●課題が見られた項目

・3年生までの授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたかの項目

◆学校質問調査では

○成果が見られた項目

・学級生活をよりよくするため、学級活動で話し合い、互いの意見のよさを活かして解決方法などを合意形成できるような指導をしているかを問う項目

●課題が見られた項目

・授業において、自らの考えがうまく伝わるよう資料や文章、話の組み立てなどを工夫し、発言や発表を行うことができているかを問う項目

◎児童・生徒質問調査に対する今後の対応

・自分の考えが相手に伝わるよう、相手意識・目的意識を明確にした言語活動を取り入れていく。

・国語科を中心とした、資料の活用の仕方、文の組み立て方に関する資質・能力が身に付くよう、授業改善に努める。

◎学校質問調査に対する今後の対応

家庭学習で取り組んだことを授業に活かすことができるよう、反転学習の在り方について考え、児童・生徒に家庭学習の意義を伝えていく。

